

★2月の休館日：5日(月)、13日(火)、14日(水)、19日(月)、26日(月)



プラネタリウム番組のご案内

2月の一般投影

太陽の活動とオーロラ

オーロラは極地でみられる美しい自然現象です。オーロラをみるため、アラスカや北欧に観光旅行をする人も多くいます。

オーロラのふるさとは太陽です。太陽の表面温度は約6000度です。その表面には、周囲よりも1500～2000度ほど温度が低い黒点があります。黒点は、太陽の磁場によって生まれ、およそ11年周期で増減します。黒点が多い時期は太陽活動が活発な時で、プロミネンス噴出や太陽フレアとよばれる爆発現象が起きます。こうした爆発現象によって、太陽風と呼ばれる電気を帯びたプラズマ粒子が、太陽から宇宙空間に放出されます。また、太陽の外側にはコロナとよばれる100万度の超高温のプラズマがとり巻いています。コロナには、磁場が噴き出すコロナホールとよばれる場所ができます。コロナホールではコロナのプラズマが磁場の



流れに沿って、そのまま太陽の外へ流れ出し、太陽風となって飛び出します。

プロミネンス噴出や太陽フレア、コロナホールによって太陽から飛び出した太陽風のプラズマ粒子は、私たちのいる地球へもやってきます。地球は、大きな磁石です。地球を取り巻く磁場の流れが太陽風によってゆがめられ、大きな電流が発生します。この時に発生した電流が、磁力線にそって流れ込み、地球の大気中の原子や分子とぶつかって、発光したものがオーロラです。

太陽活動が活発な時期には、北海道からもオーロラが見られることがあります。2023年12月には、20年ぶりに、北海道でオーロラが肉眼で観察されました。今は、太陽活動の活発な時期となっています。今月は、太陽の活動とオーロラについてご紹介します。



2023年12月1日 北海道で観測された低緯度オーロラ 提供：りくべつ宇宙地球科学館（銀河の森天文台）

キッズ
プラネタリウム

★ 幼児や小学校低学年を対象とした子ども
向けプラネタリウムです。
土日祝 11:10~/14:30~

オリオンとふゆのせいざ

☆～2/25(日)☆



3月の一般投影

北極星の今昔

冬の星空には、明るい星がリボンの形で並ぶオリオン座がかがやきます！オリオン座からふゆのせいざを探してみましょう。

北の方角がわかる便利な北極星ですが、実は天の北極と少しずれています。また、私たちは今、こぐま座 α 星を北極星として認識していますが、北極星は時代とともに別の星へと変化してきたようです。北極星について紹介します。

特別展のご案内

2/3(土)~4/7(日)

太陽系のお天気展

太陽系には8個の惑星があり、その環境はそれぞれ異なります。それぞれの惑星のお天気を比べてみます。また、太陽の活動と関係の深い宇宙天気についても紹介します。

